

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年7月7日(2011.7.7)

【公表番号】特表2010-528039(P2010-528039A)

【公表日】平成22年8月19日(2010.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2010-033

【出願番号】特願2010-509527(P2010-509527)

【国際特許分類】

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2006.01)

A 6 1 K 47/30 (2006.01)

A 6 1 K 9/64 (2006.01)

A 6 1 K 9/62 (2006.01)

A 6 1 K 9/58 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 9/50 (2006.01)

A 6 1 K 9/56 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 47/42

A 6 1 K 47/30

A 6 1 K 9/64

A 6 1 K 9/62

A 6 1 K 9/58

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 9/50

A 6 1 K 9/56

A 6 1 K 47/32

A 6 1 L 27/00

C

A 6 1 P 17/02

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月23日(2011.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

軟組織増強のための組成物であって、

架橋されたヒアルロン酸または架橋されていないヒアルロン酸の1つから成る粒子、および

生分解性ポリマー、非分解性ポリマー、タンパク質、多糖またはこれらの組合せを含む
前記粒子上の被覆
を含み、

被覆された粒子は、哺乳動物における皮下注入のために好適であり、
被覆は、水の存在下における粒子の膨潤を調節するのに有効な組成および / または厚さを有する組成物。

【請求項 2】

ヒアルロン酸が、架橋されたヒアルロン酸を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項 3】

被覆が、ポリ乳酸-コ-グリコール酸、アルブミンまたはアルギネートを含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項 4】

被覆された粒子がミクロスフェアの形状である、請求項1に記載の組成物。

【請求項 5】

被覆された粒子は、平均して、直径が約100 μm ~ 約500 μm である、請求項1に記載の組成物。

【請求項 6】

ヒアルロン酸粒子から成る組成物であって、

ヒアルロン酸粒子が、封入されたヒアルロン酸粒子を形成するように、ポリマー、タンパク質、多糖またはこれらの組合せに封入され、

封入されたヒアルロン酸粒子は通例球形であり、

封入ポリマー、タンパク質、多糖またはこれらの組合せは、水の存在下における粒子の膨潤を調節するのに有効な組成および / または厚さを有する組成物。

【請求項 7】

哺乳動物における皮下注入のために好適である、請求項6に記載の組成物。

【請求項 8】

ヒアルロン酸粒子が、水性環境におけるヒアルロン酸の持続放出を可能にするポリマー、タンパク質または多糖に封入される、請求項6に記載の組成物。

【請求項 9】

ポリビニルアルコールと架橋された封入ヒアルロン酸被覆粒子のヒドロゲルを含む、請求項6に記載の組成物。

【請求項 10】

皮膚増強のための皮膚フィラーであって、

被覆された、ヒアルロン酸から成る粒子、および

水性環境における該ヒアルロン酸の分解速度を低下させる、前記粒子上の被覆
を含み、被覆はさらに、水の存在下における粒子の膨潤を調節するのに有効な組成および / または厚さを有する皮膚フィラー。

【請求項 11】

被覆されたヒアルロン酸粒子は、通例球状であり、平均して、直径が約100 μm ~ 約500 μm である、請求項10に記載の皮膚フィラー。

【請求項 12】

被覆されたヒアルロン酸粒子のヒアルロン酸が、架橋されたヒアルロン酸である、請求項11に記載の皮膚フィラー。